

令和元年 第2回

南砺市議会6月定例会における
市長提案理由の説明要旨

令和元年6月7日

提案理由の説明

(令和元年6月定例会)

はじめに

令和元年6月定例会の開会に当たり、提案理由の説明に入ります前に、最近の情勢や市政に対する所信の一端を申し述べ、議員の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

万物に生氣がみなぎる新緑の5月に迎えた「平成」から「令和」への改元では、日本列島は御代替わりの祝賀ムードに包まれました。「ひとりひとりの日本人が明日への希望とともにそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」と安倍総理が令和に込めた願いを語ったように、私も希望に満ちあふれた新しい時代を切り拓いていく決意を新たにしたところでもあります。私たちの子や孫の世代が、令和はいい時代だった、南砺市に生まれてきてよかった、住んでよかった、と振り返られるよう、我々の知恵と努力を積み重ねていきたいと思えます。

さて、今年のゴールデンウィークは史上最長の10連休となりました。序盤に少し雨が降りましたがおおむね好天に恵まれ、市内各地で繰り広げられた春祭りや観光地には、連日大勢の人々で賑わいをみせていました。五箇山の春祭り、福野夜高祭り、井波よいやさ祭り、城端曳山祭など、伝統を守り続ける各地の魅力が存分に発揮され、県内外に南砺市の地域資源の魅力を発信できたものと思っております。

5月18日には、第6回 TOGA 天空トレイルランが開催されました。

今回は利賀地域の人口を上回る868人の健脚が参加され、利賀の大自然を満喫していただきました。コース内のエイドステーションでは、地元の皆さんがなめこ汁、清流そうめん、利賀豆腐や手打ちそば等、バラエティ豊かな食品や飲み物で選手をもてなしながら、声援を送りました。翌日には多彩な内容のオプションツアーも実施され、レース終了後も続く「おもてなし」に満足した選手の皆さんから、来年もまた来たい、との声が多数寄せられました。また、ソウルオリンピック競泳背泳ぎ金メダリストで、スポーツ庁の鈴木大地長官もゲストランナーとして参加され、大会を盛り上げていただきました。

5月29日に開催されました、今年の「チャレンジデー2019in なんと」は、「笑って 動いて 心も元気にリフレッシュ！」のスローガンの下、多数の市民の皆様にご参加をいただき、参加人数2万5,742人、参加率は50.4%でした。対戦相手の沖縄県石垣市は参加率41.7%であったことから南砺市の勝利となり、これで通算8勝6敗となりました。当日は、8地域それぞれ一日を通して様々なスポーツイベントが行われました。チャレンジデーは、スポーツや運動を継続して行うことの素晴らしさや大切さなど、健康づくりの意識を高め、健康寿命の延伸にも繋がります。この日をきっかけとして、子どもからお年寄りまで、思い思いの運動・スポーツに親しみ、健康づくりに取り組んでいただきたいと思います。チャレンジデーを盛り上げていただいた関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

ではこれより、今年度の市政運営に係る所信を申し上げます。

まずは、今年度、長年の懸案であった森林環境贈与税が創設され、間伐等の森林整備、林業の人材育成、木材利用の促進等の安定的な財源が確保されることとなりました。それに加え、林業経営の効率化と森林資

源管理の適正化の一体的な促進を図るため、「新たな森林管理システム」が創設されたこととの相乗効果で、森林吸収源対策の取り組みがこれまで以上に加速します。森林を整備することは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養、地方創生や快適な生活環境の創出等につながり、その効果は広く国民一人一人が恩恵を受けるものであります。森・里・川・海の連携の起点に位置する南砺市といたしましても、しっかりとその役割を果たすことができるよう、森林環境整備に取り組んでいきたいと思っております。

次に、小規模多機能自治であります。4月から南砺市内28地区で小規模多機能自治の手法を用いた新たな住民自治の仕組みがスタートしました。4月までに予定されていた全ての地区で設立総会を終え、それぞれ課題解決に向け歩み出しております。各地区とも運営体制を整えるため、一年以上の時間をかけて地域課題や地域の未来について語り合ってきました。それによりこれまで以上に地域の理解が深まり、愛着を持たたという声をよく耳にしております。各地区交流センターでは、これまでの公民館という枠を超え、今まで以上に施設を有効活用し、より地域の人が利用しやすく集まりやすい拠点としていくため、高齢者サロンの開設準備に入っている地区もあるなど、今後それぞれの地域に合った運営が展開されるものと期待しております。また、「一般社団法人なんと未来支援センター」も4月に開設しました。地域課題解決のサポートをすることにより、更なる成果の向上に努めてまいります。

次に、庁舎機能再編についてであります。来年7月の庁舎統合に向け、庁舎機能の再編や行政センターのあり方についてこれまで検討を重ねてまいりました。庁舎のレイアウトについてはおおむね決定し、夏頃までには庁舎の改修工事に取りかかります。行政センターのあり方について

も大詰めを迎えており、庁舎統合後の行政センターで担う事務について、最終調整をしているところであります。また、それに合わせ、定員適正化計画の見直しにも取りかかっており、今年度中にはお示しできるものと思っております。これから来年にかけては、統合に向けた引っ越しなどの計画を立てていかなければなりません。年度末等住民異動の繁忙期などもありますが、市民の皆様にご迷惑をおかけしないよう、また、市役所の業務が滞ることのないよう、しっかり準備をしていきたいと思っております。

次に、第2次南砺市総合計画についてであります。本市総合計画は今年度末に計画期間の満了を迎えることから、昨年度と今年度の2箇年で第2次総合計画の策定に取り組んでおります。今回の計画策定に当たっては、南砺市まちづくり基本条例に定められた市民の思いに寄り添い、まちづくりの主体は市民であることを念頭に進めております。市民アンケートや、なんと未来ミーティング、まちづくり検討会議等からの提言などにもしっかりと耳目を傾けつつ、現在、市民会議において、将来ビジョンの素案づくりに取り組んでいただいているところであります。今後、庁内組織である総合計画策定本部での検討や、公募市民、有識者、各種団体からの推薦者などで構成する総合計画審議会において協議してまいります。また、市議会とも綿密な情報共有を図りつつ、市民と行政が共有できる将来ビジョンの策定に取り組んでいくこととしていますので、議員各位のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、今年度市内では多くの大型イベントの開催が予定されています。主なイベントを挙げますと、7月の全国花のまちづくり南砺大会を皮切りに、8月の南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2019、第9回シアター・オリムピックス、10月の全国京都会議、全国散

居村サミット、ローカルサミットネクスト in 南砺 2019、11月の全日本菊花連盟全国大会南砺大会、翌年1月には雪合戦全国大会、そして2月には「とやま・なんと国体2020」が開催されます。いずれの催しも全国各地、国内外から多くの方々が南砺市にお越しになります。南砺の魅力をアピールする絶好の機会となりますので、「おもてなしの心」で精一杯準備を進めてまいります。

それでは、提案しました議案につきまして、提案理由とその概要をご説明いたします。

(令和元年度補正予算)

議案第58号は、令和元年度南砺市一般会計補正予算（第1号）を調製し、議会の議決を求めるものであります。

今回は、補助事業等の採択に伴い調整する事業、新規事業や事業の中間調整、自然災害等による緊急修繕事業などを、補正予算として計上しております。

まず、補助事業等の採択に伴い調整する主な事業は、企画費に「一般コミュニティ助成事業」1,100万円を計上しております。内容は出丸町町内会をはじめ5団体に対し、祭礼用備品やコミュニティ活動備品の整備を支援するものです。

電算管理費には3億3,541万円を計上し、砺波広域圏事務組合が国庫補助を受け、絶対難視聴地域である五箇山地域において、ケーブルテレビ網の老朽化への対応と、災害時等の確実かつ安定的な情報伝達を確保するため、ケーブルテレビネットワークを光ファイバー化すること及び対応設備の面的整備を行う事業に対し、負担金を支出するものです。

農業振興費には 936 万円を計上し、強い農業・担い手作り総合支援事業により、新規就農者の育成対策や、複合経営等による先進的農業の確立を図るなど、効率的かつ安定的な経営を目指す 4 経営体に対し、農業機械・施設整備を支援いたします。

社会資本整備総合交付金等の内示を受け、道路橋梁維持費、道路改良費、消融雪施設整備費、河川総務費、公園費には計 2 億 2,382 万円を追加で計上します。対象事業費の精査を行い、それぞれ事業を実施するものです。

芸術文化推進費では、文化庁の「文化芸術創造拠点形成事業」の採択を受け、3つの事業を展開いたします。1つ目は国際舞台芸術活動事業開催業務委託料として 527 万円を計上し、利賀鈴木演劇塾のビギナークラスの開催や、アジアにおける舞台芸術の拠点としての「TOGA」において舞台芸術の未来を考えるシンポジウム等を開催いたします。2つ目に、ワールドミュージック事業開催業務委託料として 154 万円を計上し、市民音楽団体のネットワーク強化、アーティストによる楽団の結成やボランティアスタッフの育成、市民向けのワークショップを行います。3つ目に、これらの事業が地域経済に及ぼす効果を検証するための調査業務委託料として 57 万円を計上しております。また、利賀舞台芸術事業補助金として市の負担金 520 万円を計上しております。本事業では、富山県文化振興財団が実施主体となり、富山県が策定した「新世紀とやま文化振興計画」に基づき、利賀芸術公園で活動を行う「劇団 SCOT」が織りなす舞台芸術を創造・発信し、芸術活動の活性化、住民の観賞機会の充実及び、芸術文化の水準向上を図るほか、高校生夏期演劇講習会などが予定されています。

次に、新規事業や事業の中間調整を要する事業の主なものは、まず総

務施設管理費に 1,318 万円を計上し、公共施設再編計画に基づく旧太美山保育園と旧宝引荘の譲渡に向けての改修工事を行うものです。

次に、公共施設再編費には 970 万円を計上し、福光庁舎別館アスベスト除去工事を行います。

また、小学校施設管理費には 6,226 万円を計上し、井口地域における小・中一貫校の整備を進めるに当たり、井口地域小中一貫校設置協議会において校舎の基本構想が固まったため、(仮称)井口地域義務教育学校校舎整備工事実施設計業務を委託します。

中学校教育振興費には、多額の寄付をいただいた方のご意志に沿い、城端中学校の「わかばスポーツ・文化振興基金」へ、積立ての補助を行うため、1,000 万円を計上しました。

緊急修繕等の主な事業では、施設・機器等の経年劣化によるものが 4,492 万円で、スキー場圧雪車の修繕、福寿園屋上防水改修工事等を計上しております。また、自然災害によるものは 110 万円で、いのくち椿館監視カメラシステム等修繕工事、福光里山野営場管理棟外壁修繕工事等を計上しております。

今回の補正総額は 7 億 7,743 万 3 千円となり、この結果、令和元年度一般会計予算の累計額は、338 億 2,743 万 3 千円となります。

これら補正予算の財源は、国県支出金 1 億 5,312 万 7 千円、諸収入 2,330 万 9 千円、市債 4 億 9,690 万円を充て、歳入組み替えにより特定目的基金繰入金 621 万円を減額とし、不足する一般財源 1 億 1,030 万 7 千円は、財政調整基金を取り崩して対応することとしております。

議案第 59 号 令和元年度南砺市介護事業特別会計補正予算(第 1 号)は、平高齢者生活福祉センターつつじ荘の館内空調設備等について、経

年劣化による設備更新費として、17万3千円を計上するものであります。この結果、令和元年度介護事業特別会計予算の累計額は、1億9,767万3千円となります。この補正予算の財源は、一般会計繰入金で対応することとしております。

(条例その他)

条例議案では、全部改正が議案第60号の南砺市クリエイタープラザ条例の全部改正についての1件、一部改正につきましては、議案第61号の南砺市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正についてをはじめ4件を提出しております。

その他の議案といたしましては、議案第65号から第71号まで、予定価格が1億5千万円以上の工事請負契約及び予定価格が2千万円以上の動産の買入れに関し、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例に基づくもの7件、議案第72号から第74号まで、適正な対価なくして行う財産の減額譲渡について、地方自治法第96条第1項第6号の規定によるもの3件につきまして、議決を求めるものであります。

承認第1号から第4号までにつきましては、平成30年度南砺市一般会計補正予算に係るもの1件及び税関係条例の一部改正に係るもの3件の計4件について、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分いたしましたので、同条第3項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

報告第2号から第5号までにつきましては、いずれも平成30年度予算の繰越状況を、地方自治法施行令第146条第2項及び地方公営企業法第26条第3項の規定により報告するものであります。

報告第6号につきましては、1件100万円以内の損害賠償の額の決定及び和解について専決処分を行いましたので、地方自治法第180条第2項の規定によりこれを報告するものであります。

報告第7号の債権放棄につきましては、平成30年度中に、破産、行方不明、時効経過等による債権放棄を行ったものについて、南砺市債権管理条例第9条第2項の規定によりこれを報告するものであります。

以上、本定例会に提出いたしました議案について提案理由を説明いたしました。慎重ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。